前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏(法人	、にあっ	ては名称)			人にあっては主?)2-8045	たる事業所の)所在地)
a DOV	WAエレ	/クトロニクス岡口	山(株)	1 1	元 5045 市南区海岸通1	丁目3番1号	.
本票作成	部署名	: 製造部 製造第	51課				
主たる業	美種 分類	28 業種名:	電子部品・デバイン	ス・電子回	路製造業		
事業の概 要	磁性粉	の製造					
	番号	工場			 所	在 地	
	① DOWAエレクトロニクス岡山(株)			岡山	岡山市南区海岸通1丁目3番1号		
県内の 主 な 工場等							
特定事業の該当要	英件 (工場等の数	500k@以上 🗌 ②バス 1 所	●車両台	お数(②該当の	場合)	台)
温室効果な	ガス 基注	準年度(平成 25	年度) (平成			票年度(平成	
排出量	亚	118, 079 t		108, 848	3 t CO ₂ (平成 26)		843 t CO ₂
	<u> </u>	番号 工場等の名称 ① DOWAエレクトロニクス岡山㈱ 			(平成 26) 年度排出量 108,848 t CO ₂		
		DOWALD TO THE TANK IN THE TOTAL TO THE TOTAL THE TOTAL TO THE TOTAL TOTAL TO THE TO			$t CO_2$		
主な工場							t CO ₂
の排出量							t CO ₂
							t CO ₂
							t CO ₂
	計	 画期間: 平		\sim $^{\frac{1}{2}}$	平成 30 年度	F (5 箇年度)
削減目標	長の	<u>□ </u>	1	減実績	目標削減率	ī	標達成
達成状治	况	□	7.8	%		% ② 達成	□未達
(E)(1). ±	温室	三 効果ガスの排出量と額	玄接な関係をもつ値の内	容	原単位当	たり排出量	
(原単位基の削減目標 選択してい場合に記入	5準 原を いる				基準年度 (26)年度 目標年度		
(該当事業			Γ		T		
ベンチマー	-	対象事業の名称	ベンチマーク	指標	関連数値(平	成 26 年	度)達成率等
指標の状							
4.1.4.4.1.V		¬ ⇒ / т ¶					

【削減状況の自己評価】

今年度の削減CO2量は、昨年度対比 7.8% (目標0.2) と大きく削減出来ている。この削減分のうち、 廃棄物焼却由来 (非エネルギー起源) の排出量減少分が6.4%と大きく占めている。この削減分は本来の削減とは相反するものであるが、その減少分 (6.4%) を除いても、目標値に対して1.4%と十分削減出来 ている。ただし、生産量の減少による電力使用量の低下に起因する排出量減がほとんどであるが、A 重油⇒BDFへの燃料転換など微量ながらも計画通り削減に努力している。

【推准体制	Г

- 1. 省エネルギー推進活動の継続
 - ・個人単位での省立活動提案(改善提案報告書)
 - ・事業所全体での節電活動の推進
- 2. 省式推進組織活動の継続ならびに決算会議での報告

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】					
工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容				
DOWAエレクトロニクス 岡山(株)	(平成26年度実施分) 燃焼ファンの高効率化 → 約100kL/年 (原油換算) 削減済 (今後実施予定分) 1) コンプレッサー更新による電力削減 → ▲40kL (原油換算) 2) 廃液霧化の蒸気利用 → ▲40kL 3) 窒素製造設備の最大出力適正化 → ▲35kL 4) 設備稼働率upによる原単位改善 → ▲40kL 5) 空冷塔の運転の見直し → ▲65kL				
【森林保全等吸収源対策への取	7.8日】				

【森林保全等吸収源対策への取組】							
県内で の取組	無						
その他	無						
【再生可	能エネ	ルギーの導入】					
県内で の取組	無						
その他	無						
【その他特記事項】							

「フの仏母司書	T# 1		
【その他特記事	垻 】		